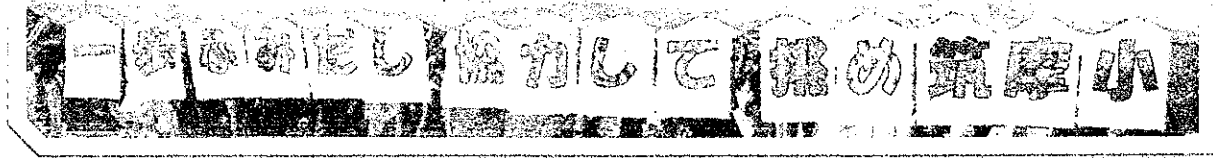


筑摩だより

松本市立筑摩小学校
令和8年6月 発行
松本市筑摩1-8-1
電話 25-0090



今年は「子どもたちがつくる運動会」を目指して、「どんな運動会にしたいか」という思いを子どもたちなりに形にしながら練習を進めてきました。また有志のプロジェクトで開閉式の立案やプログラムづくりなど企画・準備も進められ、「やらされる」から「やりたくなる」運動会を目指しました。それぞれの競技や表現の中には、子どもたちの「やりたい!」がちりばめられたものとなっていました。例えばハードル走を選んだ3年生や4年生では、一人ひとりが「わたしは11秒で走れるようになりたい」「きれいな跳び方を意識して走りたい」など自分の目標をもって練習から望みました。準備や片付けも自分たちで取り組みました。表現ダンスでも、自分たちで振り付けや流れを考える場面があって、自分の得意な動きやみんなが楽しんでもくれる振り付けを考えるなど工夫が盛りだくさんでした。だからこそ、「みんなに見てほしい」という思いや笑顔があふれた運動会になったと感じます。地域・保護者の皆様からたくさんの応援をいただきました。また多くの皆様に片付けのご協力をいただき、子どもたちを支える地域・保護者の力を感じました。ありがとうございました。



1年生
つかまつこ1ねんせい、よーいドン



2年生 ハッピー・カリスマックス



4年生 リズムでGO!
世界1周ダンスツアー



3年生 みせる!本気の竹取物語



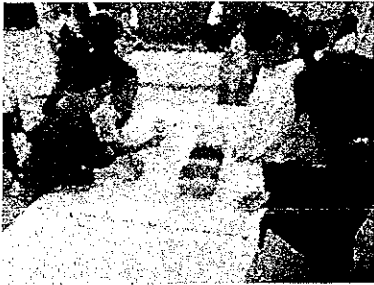
5年生 みんなでつなぐ
5年生リレー



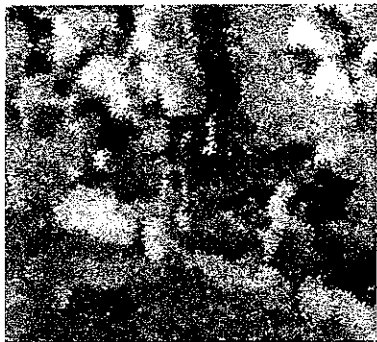
6年生
『飛躍』

5月・6月の学校の様子

かえでまつり～児童会活動～



児童会の各委員会が中心となってイベントを企画。給食委員会は栄養マスターを目指して赤・黄・緑の食材分けゲーム。環境委員会はもえるごみ、プラスチックごみ、その他のごみに分別するタイム競争。各委員会が工夫を凝らして企画・運営し、それをなかよし学級ペア（異年齢ペア）で交流をしながら楽しみました。運動会が終わっても子どもたち主体の活動がつづきます！



今月も地域ボランティアの皆様の協力で多彩な活動が展開されました！ 田んぼや野菜づくり、本の読み聞かせに習字指導、柏餅づくり、リトミック、スポーツ教室、地域探検…。地域の方々と関わりながらバーチャルではない“本物”に触れる貴重な体験をさせていただいています。きっとこの体験は子どもたちの心と体の奥底に蓄えられ、将来、ここぞという時の力になってくれたり地域を愛する心につながったりしてくれると信じています。

子どもたちの安心安全を目指して

消防署の職員さんの指導のもと、救急救命講習を実施し、救命の技術を学びました。また信州大学の横嶋先生をお招きし、子どもたち一人ひとりの多様性を認め合える形にしていくためにはどうしたらいいのだろうか。教職員で考え、学び合いました。



（文責：教頭 田畑真志）